

2019年3月期第2四半期 決算説明会 プレゼンテーション資料

2018年11月26日

東証一部 証券コード 3023

 **ラサ商事株式会社**
<http://www.rasaco.co.jp/>

INDEX

I. 決算の概要

- 1. 決算概要(連結)(セグメント別) …P 4
- 2. 損益計算書(連結、個別) …P 6
- 3. 部門別の概況 …P 8
- 4. 貸借対照表(連結、個別) …P14
- 5. キャッシュ・フロー計算書(連結) …P18

II. 中期経営計画の進捗

- 1. 中期経営計画 基本方針 …P20
- 2. 中期経営計画 目標と実績・予想・P21
- 3. 中期経営計画 経営指標と実績 …P22

- 4. 中期経営計画 重点施策 …P23
- 5. 「収益基盤の更なる強化」の概要 …P24
- 6. 「収益基盤の更なる強化」に向けた
取り組み …P26

III. 2019年3月期業績見通し

- 1. 2019年3月期の連結業績見通し …P30
- 2. 配当 …P31

参考資料

- ・用語集 …P33

I. 決算の概要

RASA CORPORATION

1. 2019年3月期第2四半期 ① 決算概要(連結)

● 経営環境

- 海外情勢の不確実性が高まるも、経済は比較的安定的に推移し、緩やかな景気回復が持続
- 企業収益が改善し、設備投資も引き続き増加基調

● 決算概要

- 売上高は各事業ともほぼ前年度実績を上回り、前年度同期比増収
- 鉱産物市場も堅調な需要が続くとともに、価格も安定的に推移し、民間企業向けのポンプ類の販売やメンテナンス事業が堅調に推移したことから利益面でも当初予想を上回り、前年度同期比増益

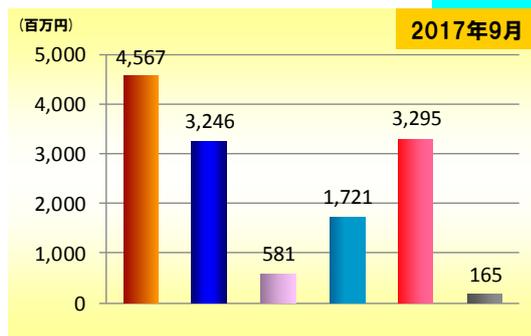
- 売上高・・・147億6千1百万円(前年同期比+9.6%)
- 経常利益・・・7億5百万円(前年同期比+21.7%)
- 当期純利益・・・5億6百万円(前年同期比+28.2%)



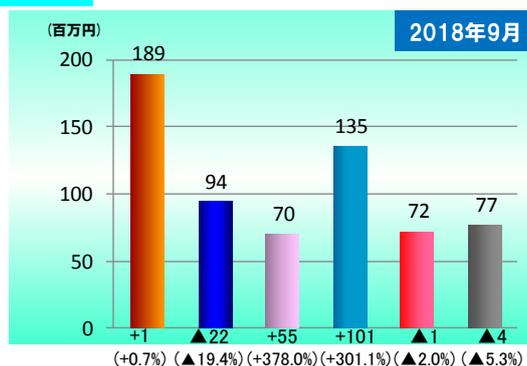
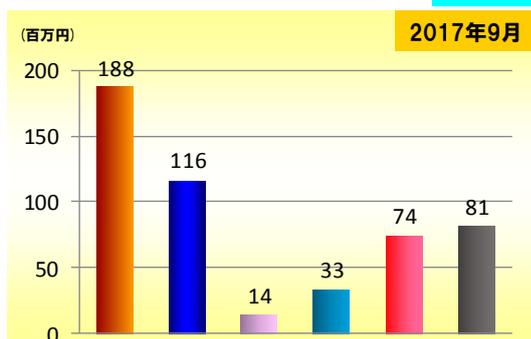
RASA CORPORATION

1. 2019年3月期第2四半期 ②決算概要(セグメント別)

● 売上高



● 営業利益



2. 2019年3月期第2四半期 ①連結損益計算書

(単位:百万円・%)

	前年第2四半期 (2017.9)		当第2四半期 実績(2018.9)		増減
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	13,473	100.0	14,761	100.0	1,288
資源・金属素材関連	4,567	33.9	4,745	32.1	178
産機・建機関連	3,246	24.1	3,680	24.9	434
環境設備関連	581	4.3	822	5.6	241
プラント・設備工事関連	1,721	12.8	2,110	14.3	389
化成品関連	3,295	24.5	3,292	22.3	▲2
不動産賃貸関連	165	1.2	171	1.2	6
内部相殺	▲103	▲0.8	▲61	▲0.4	42
売上総利益	2,459	18.3	2,662	18.0	203
販売費及び一般管理費	1,948	14.5	2,022	13.7	73
営業利益	510	3.8	640	4.3	130
営業外収支	69	0.5	64	0.4	▲4
経常利益	579	4.3	705	4.8	125
特別利益	0	0.0	100	0.7	100
税金等調整前四半期純利益	579	4.3	805	5.5	226
親会社株主に帰属する四半期純利益	395	2.9	506	3.4	111
1株当り四半期純利益(円)	36.35		40.56		

2. 2019年3月期第2四半期 ②個別損益計算書(ラサ商事)

(単位:百万円・%)

	前年第2四半期 (2017.9)		当第2四半期 実績(2018.9)		増減
	金額	構成比	金額	構成比	
	売上高	8,394	100.0	9,248	
資源・金属素材関連	4,567	54.4	4,745	51.3	178
産機・建機関連	3,246	38.7	3,680	39.8	434
環境設備関連	581	6.9	822	8.9	241
売上総利益	1,998	23.8	2,082	22.5	84
販売費及び一般管理費	1,678	20.0	1,728	18.7	49
営業利益	319	3.8	354	3.8	34
営業外収支	46	0.6	43	0.5	▲3
経常利益	365	4.4	397	4.3	31
特別損失	0	0.0	0	0.0	-
税引前四半期利益	365	4.4	396	4.3	30
四半期純利益	243	2.9	266	2.9	22

3. 部門別の概況 ①資源・金属素材関連

- 主力商品のジルコンサンドは、品薄状態が続き前年同期比減収
- チタン原料については大口購入先の需要の低迷により減収
- 輸入原料はジルコニアを始め堅調な需要が続き大幅増収

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2017.9)	当期 (2018.9)	増減額	増減率	前期 (2017.9)	当期 (2018.9)	増減額	増減率
ジルコンサンド	1,432	1,035	▲396	▲27.7	1,200	1,097	▲102	▲8.6
チタン原料	533	336	▲197	▲37.0	585	265	▲320	▲54.7
輸入原料	734	1,428	694	94.6	791	1,627	835	105.5
金属シリコン	1,709	1,734	25	1.5	1,715	1,701	▲14	▲0.8
その他商品	157	210	52	33.5	150	218	67	44.8
合計	4,567	4,745	178	3.9	4,443	4,909	466	10.5
粗利益率	11.1	9.3	▲1.8	▲15.8	13.2	9.6	▲3.6	▲27.2

3. 部門別の概況 ②産機・建機関連

- 産業機械は、企業収益や設備投資の改善から民間企業向け各種ポンプ類の販売が安定
- 建設機械は、海外向けのシールド掘進機の回復もあり、受注、売上ともに増加

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2017.9)	当期 (2018.9)	増減額	増減率	前期 (2017.9)	当期 (2018.9)	増減額	増減率
ワーマン®ポンプ	1,566	1,505	▲61	▲3.9	1,573	1,590	16	1.1
ヒドロスタルポンプ	460	336	▲123	▲26.9	801	850	48	6.1
その他ポンプ	185	205	20	11.0	242	287	44	18.2
その他産業機械	697	902	204	29.3	897	1,053	155	17.3
産業機械 計	2,909	2,949	40	1.4	3,515	3,781	265	7.6
シールド掘進機	267	658	390	145.8	488	515	26	5.4
その他建設機械	68	72	3	5.1	74	82	8	11.4
建設機械 計	336	730	394	117.0	563	598	34	6.2
合計	3,246	3,680	434	13.4	4,078	4,379	300	7.4

3. 部門別の概況 ③環境設備関連

- 環境商品、水砕設備商品の販売は引続き安定
- 大口のプツマイスターポンプ案件が増収に寄与

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2017.9)	当期 (2018.9)	増減額	増減率	前期 (2017.9)	当期 (2018.9)	増減額	増減率
水砕スラグ製造設備	204	199	▲5	▲2.5	193	226	32	16.6
プツマイスター高圧 ピストンポンプシステム	267	468	201	75.4	383	286	▲96	▲25.2
輸入高圧用ポンプ 及び機器類	109	154	44	40.9	146	205	59	▲40.8
合計	581	822	241	41.5	723	718	▲4	▲0.7

3. 部門別の概況 ④プラント・設備工事関連

- 旭テックが担うセグメント
- 工事関連が順調に推移し増収、受注も大幅な伸び

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2017.9)	当期 (2018.9)	増減額	増減率	前期 (2017.9)	当期 (2018.9)	増減額	増減率
プラント・設備工事関連	1,721	2,110	389	22.6	2,200	3,463	1,262	57.4

3. 部門別の概況 ⑤化成品関連

- イズミが担うセグメント
- 電線業界向け合成樹脂販売は堅調に推移、自動車関連製品での競合厳しい

(単位:百万円・%)

	売上高			
	前期 (2017.9)	当期 (2018.9)	増減額	増減率
化成品関連	3,295	3292	▲2	▲0.1

3. 部門別の概況 ⑥不動産賃貸関連

- ラサ・リアルエステートの担うセグメント
- 当社グループ全体での一体運営を徹底
- オフィスビルの稼働率は100%と良好
- 資産の買換えによる効率化を推進

(単位:百万円・%)

	売上高			
	前期 (2017.9)	当期 (2018.9)	増減額	増減率
不動産賃貸関連	165	171	6	3.7

4. 連結貸借対照表 ①資産の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2018.3)		当第2四半期末 (2018.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	16,896	57.3	16,816	58.0	▲79	▲0.5
現金及び預金	4,249		3,707		▲542	
受取手形及び売掛金	8,930		8,123		▲806	
完成工事未収入金	857		760		▲96	
商品及び製品	1,343		2,384		1,041	
未成工事支出金	1,350		1,566		215	
その他	164		273		109	
固定資産	12,590	42.7	12,166	42.0	▲424	▲3.4
有形固定資産	8,503	(28.8)	8,081	(27.9)	▲421	▲5.0
建物及び構築物	2,093		2,025		▲67	
土地	6,245		5,908		▲336	
その他	165		147		▲17	
無形固定資産	30	(0.1)	42	(0.1)	12	41.7
投資その他資産	4,057	(13.8)	4,041	(13.9)	▲15	▲0.4
投資有価証券	3,110		3,098		▲11	
その他	946		942		▲4	
資産合計	29,487	100.0	28,983	100.0	▲504	▲1.7

注)当期(2019/3)より「税効果会計基準」の一部改正等を適用しており、前期(2018/3)につきましては遡及適用後の数値を記載しております。

4. 連結貸借対照表 ②負債・資本の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2018.3)		当第2四半期末 (2018.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	9,075	(30.8)	8,739	(30.2)	▲336	▲3.7
支払手形及び買掛金	4,340		4,439		98	
工事未払金	410		239		▲170	
短期借入金	1,667		1,920		252	
1年内返済予定の長期借入金	1,190		891		▲299	
未払法人税等	435		328		▲107	
その他	1,030		920		▲110	
固定負債	4,712	(16.0)	4,283	(14.8)	▲429	▲9.1
長期借入金	3,991		3,617		▲373	
繰延税金負債	337		276		▲60	
退職給付引当金	118		104		▲14	
その他	265		284		19	
負債合計	13,788	46.8	13,023	44.9	▲765	▲5.5
株主資本	15,312	(51.9)	15,603	(53.8)	290	
その他の包括利益累計額	386		356		▲29	
純資産合計	15,698	53.2	15,959	55.1	261	1.7
負債純資産合計	29,487	100.0	28,983	100.0	▲504	▲1.7
自己資本比率(%)	53.2		55.1		1.9	

4. 個別貸借対照表 ①資産の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2018.3)		当第2四半期末 (2018.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	10,685	56.6	10,176	55.5	▲509	▲4.8
現金及び預金	2,623		1,770		▲852	
受取手形	2,184		2,093		▲90	
売掛金	4,520		3,789		▲731	
商品	1,308		2,334		1,025	
その他	49		188		138	
固定資産	8,197	43.4	8,170	44.5	▲26	▲0.3
有形固定資産	665	(3.5)	665	(3.6)	-	-
建物及び構築物	131		134		3	
土地	464		464		-	
その他	69		66		▲3	
無形固定資産	20	(0.1)	35	(0.2)	15	75.4
投資その他資産	7,511	(39.8)	7,469	(40.7)	▲41	▲0.6
投資有価証券	1,221		1,181		▲40	
子会社及び関係会社株式	4,739		4,739		-	
保険積立会	731		710		▲20	
その他	817		837		19	
資産合計	18,882	100.0	18,346	100.0	▲535	▲2.8

4. 個別貸借対照表 ②負債・資本の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2018.3)		当第2四半期末 (2018.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	5,222	(27.7)	4,817	(26.3)	▲404	▲7.8
支払手形	1,463		1,263		▲200	
買掛金	1,268		1,512		244	
短期借入金	720		920		200	
1年内返済長期借入金	758		461		▲297	
未払金	138		129		▲9	
未払法人税等	378		154		▲224	
その他	495		377		▲117	
固定負債	550	(2.9)	394	(2.1)	▲155	▲28.3
長期借入金	367		208		▲159	
退職給付引当金	93		76		▲17	
その他	89		109		20	
負債合計	5,772	30.6	5,212	28.4	▲560	▲9.7
純資産合計	13,110	69.4	13,134	71.6	24	0.2
負債純資産合計	18,882	100.0	18,346	100.0	▲535	▲2.8
自己資本比率(%)	69.4	-	71.6	-	2.2	

5. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 (2017.9)	当第2四半期 (2018.9)	当第2四半期の主要項目
営業キャッシュ・フロー	1,267	▲250	税金等調整前四半期純利益 805 減価償却費 95 固定資産除売却損益(▲益) ▲100 売上債権増減額(▲増加) 903 たな卸資産増減額(▲増加) ▲1,254 仕入債務増減額(▲減少) ▲72 前受金の増減額(▲減少) ▲119 法人税等の支払額 ▲401
投資キャッシュ・フロー	▲75	357	有形固定資産の売却による収入 401 保険積立金の積立による支出 ▲110
財務キャッシュ・フロー	▲1,202	▲649	短期借入金の純増減額(▲減少) 252 長期借入金の返済による支出 ▲672 配当金の支払額 ▲231
換算差額	▲0	0	
増減	▲10	▲542	
期首残高	2,768	4,249	
期末残高	2,757	3,707	

III. 中期経営計画の進捗

RASA CORPORATION

1. 中期経営計画 基本方針

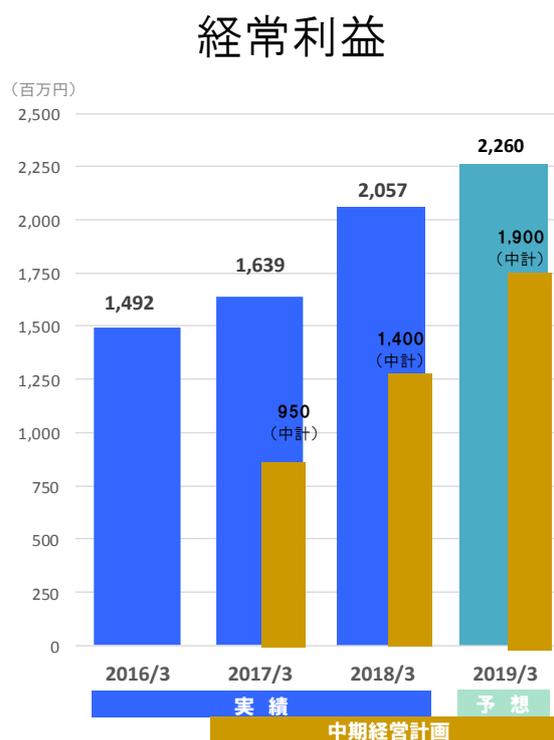
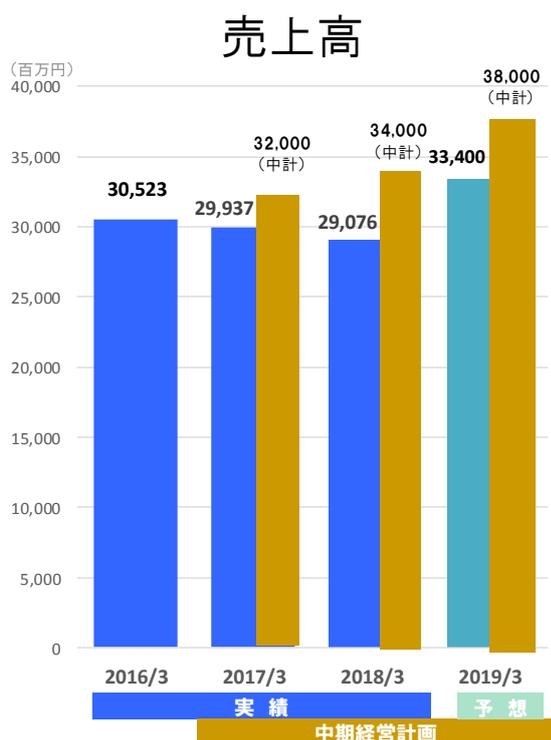
「Next Stage Rasa 2018 ～80周年への布石～」

中期経営計画
基本方針

- ① 変革の好機と捉え、重点施策の推進により企業価値向上を目指す
- ② 創立80周年に向け、専門商社の枠組みを超えた付加価値創出企業として、持続的な成長を目指す
- ③ 当中計から配当方針を見直し、株主価値の極大化に努める

RASA CORPORATION

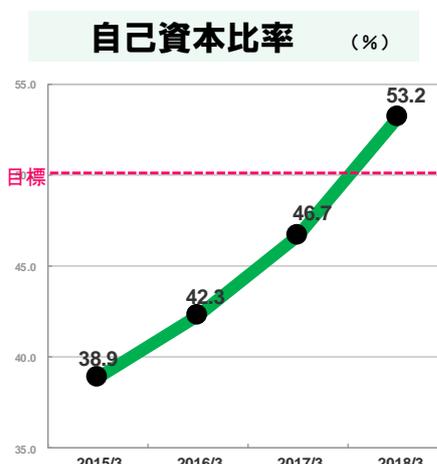
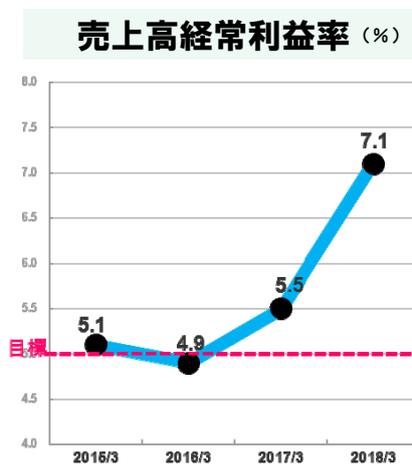
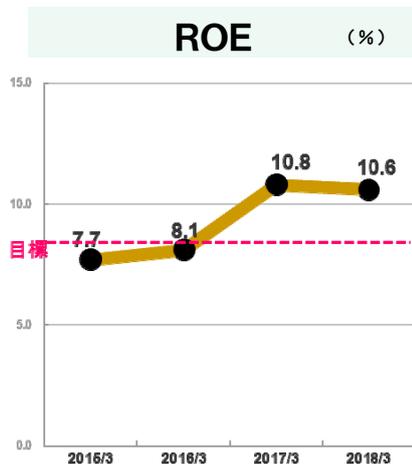
2. 中期経営計画 目標と実績・予想(連結)



3. 中期経営計画 経営指標と実績(連結)

経営指標

- ①自己資本当期純利益率 (ROE) 8%以上
- ②売上高経常利益率 5%以上
- ③自己資本比率 50%以上

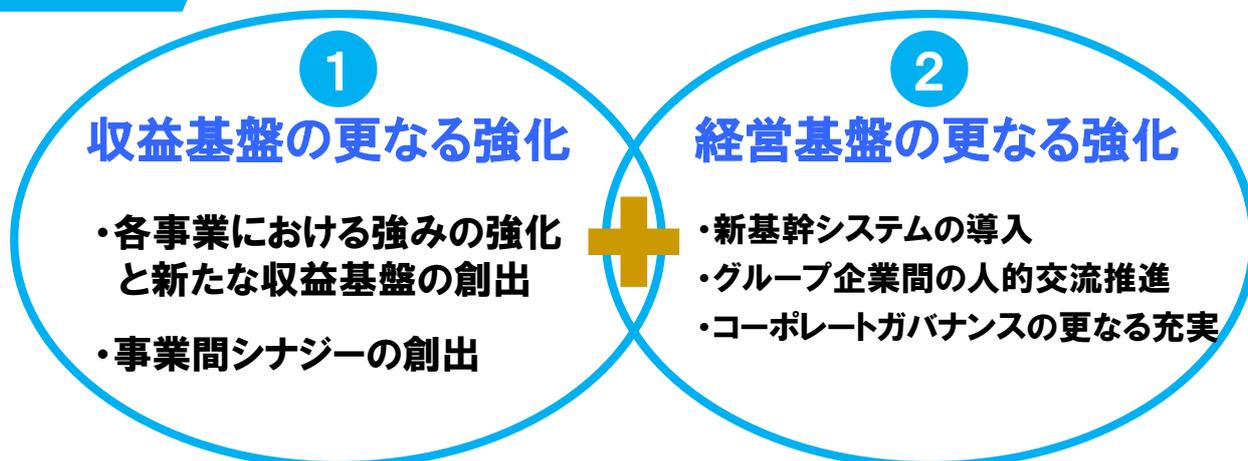


4. 中期経営計画 重点施策

「Next Stage Rasa 2018 ～80周年への布石～」

中期経営計画
重点施策

2つのテーマに取り組む



5. 「収益基盤の更なる強化」の概要 ①

【各事業における強みの強化と新たな収益基盤の創出】

資源・金属素材関連

- 相場変動に対応できる鉱産物在庫水準の見直し

産機・建機関連

- 国内シェアNo.1のスラリーポンプにおける更なるシェア拡大
- BCP関連製品(多目的可搬式ポンプ)の販売拡大

環境設備関連

- コンサルティング営業によるポンプ関連製品の販売強化

プラント・設備工事関連

- 既存顧客の設備更新需要の取り込み強化
- 新工場稼働による新規事業の拡大(ステンレス配管事業・ポンプ整備事業など)

化成品関連

- 国内顧客の海外生産移管に対応した海外向け需要の取り込み強化

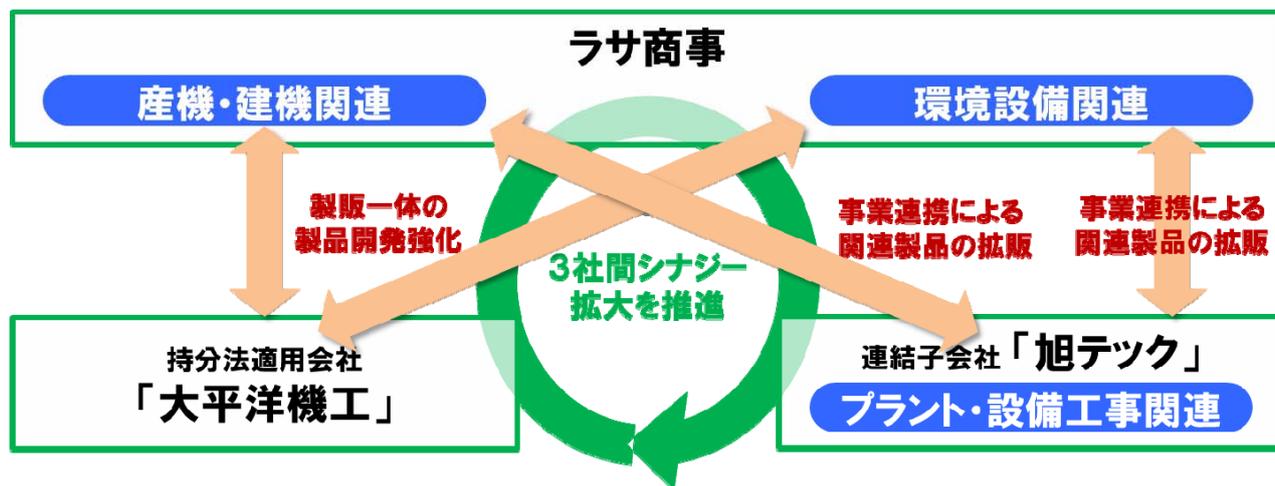
不動産賃貸関連

- グループ遊休地の更なる有効活用の推進
 - ・市原遊休地
 - ・八潮駐車場】収益性の高い物件への買換え

5. 「収益基盤の更なる強化」の概要 ②

【事業間シナジーの創出】

特に、将来的に大きな事業連携効果が見込まれる**機械関連3事業間シナジー**および**当社を含む関連3社間シナジー**の追求を強力に推進



6. 「収益基盤の更なる強化」に向けた取り組み ①

①新製品BETSY販売開始



浸水被害対策など様々な現場で使用可能な多目的可搬式エンジンポンプユニット「BETSY」を2016年5月下旬より販売開始
※BETSY(ベッツィー)とは
Bifunctional Efficient Transfer-pump Systemの略

【BETSYの特徴】

- ✓ 自吸式無閉塞型ポンプの採用で異物が詰まりにくい
- ✓ コンパクト設計だから牽引・積載が容易
- ✓ ディーゼルエンジンの採用で低燃費、且つ静音設計
- ✓ 水位変動を検知して自動制御運転が可能

6. 「収益基盤の更なる強化」に向けた取り組み ②

②旭テック新工場完成、稼働開始



旭テック本社、第Ⅰ・Ⅱ工場



第Ⅰ工場内観

旭テック(株)概要

- 本社:千葉県袖ヶ浦市
- 2014年12月子会社化。プラント・設備工事関連事業を担う
- 京葉臨海コンビナートに施設を展開する約50社の大手企業のプラントについて、建設工事の設計・施工からメンテナンス工事まで一貫対応、元受比率も50%
- 袖ヶ浦の自社工場では、プラント等で使用する各種の配管などの加工を行う
- 大手ポンプメーカーの認定工場

2017年4月より新工場稼働

- ・ステンレスやアルミニウムなど高品質素材の配管・加工、特殊配管の加工
- ・大型回転機修理を可能とする大型クレーンの追加導入

6. 「収益基盤の更なる強化」に向けた取り組み ③

③保有不動産の有効活用推進に向けた取り組み

- ・旭テックの旧本社工場の買換物件として、外食向け定期借地権付土地(底地)を取得。これにより事業の収益力が向上。

遊休不動産



収益不動産

売却代金プラス自己資金(または借入金による買換え)

II. 2019年3月期業績見通し

RASA CORPORATION

1. 2019年3月期の連結業績見通し

- 2018年9月14日付で2019年3月期通期連結業績予想の修正についてニュースリリースを開示済
- 当初予想から増収増益の見込み

(単位:百万円・%)

【連結】	2018年 3月期 実績 ①	2019年 3月期 当初予想 ②	2019年 3月期 修正予想 ③	当初予想 対比 ④ (③-②)	当初予想 対比 増減率 ④/②	前期比 ⑤(③-①)	前期比 増減率 ⑤/①
売上高	29,076	33,000	33,400	400	1.2	4,324	14.9
営業利益	1,863	2,000	2,110	110	5.5	247	13.3
経常利益	2,057	2,200	2,260	60	2.7	203	9.9
当期純利益	1,514	1,571	1,574	3	0.2	60	4.0
1株当り 当期純利益(円)	133.42	125.83	126.09	0.26	0.2	▲7.33	▲5.5

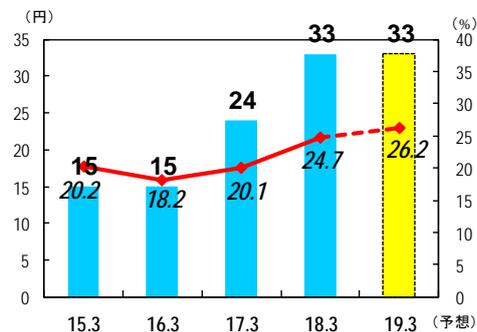
RASA CORPORATION

2. 配当

配当実績 (1株当たり)

● 2018年3月期実績	33円
【中間】	15.0円
【期末】	18.0円
● 2019年3月期予想	33円
【中間】	16.5円
【期末】	16.5円

■ 配当金・配当性向の推移



配当方針

安定配当

配当性向
25%前後
の維持

【2018年3月期実績】 24.7%
【2019年3月期予想】 26.2%

2019年3月期第2四半期 決算説明会

参考資料

用語集 ① 資源・金属素材関連

用語	内容
ジルコンサンド	オーストラリア、南アフリカが2大生産地である天然鉱石。「融点が高い」「比重が大きい」「硬い」などの特性を活用し、スマートフォンやタブレットPCのタッチパネルの素材、風力発電用の部品向けジルコン加工品の原料、半導体業界でのICチップの鏡面加工研磨材や、PDP（プラズマディスプレイパネル）の原料など産業界において幅広く使用されている。
金属シリコン	珪石(ケイ素《Si》と酸素《O2》が主原料)を電気炉で精錬し、酸化物を還元したもの。自然エネルギーとしての太陽電池用シリコンウエハー原料、半導体シリコンウエハー原料、自動車用アルミ合金添加物などに使用されている。
ジルコニア	ジルコンサンドを電気炉で熔融し、酸化ジルコニウムを98%以上にした製品。「融点が高い」「強度が大きい」「化学的に中性で安定している」などの特徴がある。液晶やプラズマディスプレイガラスの熔融耐火材や、自動車や電車の車両のブレーキ材料、光学レンズ研磨材など幅広く使用されている。

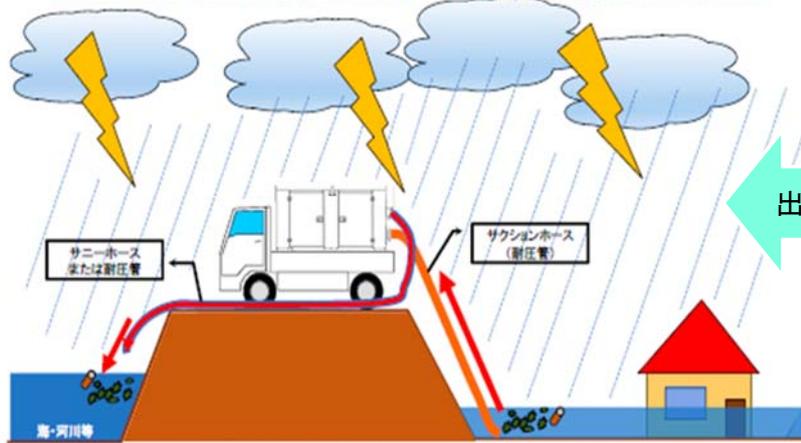
用語集 ② 産機・建機関連

用語	内容
スラリーポンプ	固形物を含む液体の混濁液(スラリー液)を送るポンプ。
ワーマン®ポンプ	オーストラリアのワーマン社で開発されたポンプ。 液体の性状に合わせて接液部の材質をゴム、金属の組合せに変更できる高機能なポンプ。磨耗性や腐食性のある液体や強酸・強アルカリスラリー液を送ることが出来る。また磨耗した接液部を交換することで半永久的に使用することができるという特徴を持つ。 化学、排水処理、製鉄、非鉄金属、発電所、鉱業、精錬、製紙、窯業、食品、上下水道等多岐に渡る分野で使用されている。
ヒドロスタルポンプ	スイスのヒドロスタル社で開発されたポンプ。 もともとは水産業で魚を傷つけずにポンプ搬送することを目的に開発されたもので、その特徴から壊れやすい固形物の非破壊流送や、長い繊維状のものを閉塞させることなく送液することができる。この特徴を生かして、下水処理場、し尿処理場を主として、製紙(湿式不織布)、食品、化学等で幅広く使用されている。
シールド掘進機	地下鉄や下水道などのトンネルの掘削に使用される機械。 当社の建設機械における主力商品で、当社は下水管やケーブル管理設用の比較的小さな口径の製品をインフラ整備用に納入している。

用語集 ② 産機・建機関連

用語	内容
BETSY	「 B ifunctional E fficient T ransfer-pump S ystem」の略 複数の機能を有する効率的な移送ポンプシステムで、緊急排水ポンプ、災害用ポンプ、仮設ポンプのほかさまざまな用途・シチュエーションで大活躍する可搬式ポンプユニット。

ゲリラ豪雨等による洪水時の仮設排水例



用語集 ③ 環境設備関連

用語	内容
水砕スラグ製造設備	製鉄所の高炉の付帯設備。 製鉄業界では「ラサ・システム」として世界的に知られている。 鉄製造過程で発生する副産物の「熔融スラグ」を、セメント原料などとして再利用できるように高圧水で急冷・粒状化する設備で、製鉄所においては不可欠な設備となっている。

